

てをつなぐ

石垣市立宮良小学校一年 半嶺 奏和

あおいそら
ほしのそら
にじのそら

わたしのすんでいるところからはきれいなおそらがみえるよ。

でもこのそらのしたのどこかでまだせんそうをしているくがあることをしったよ。

ばくだんであしをなくしたおともだち

じゅうでおとうさんとおかあさんをなくしたおともだち

ばくだんのなかをとおくまでにげたおともだちのはなしをおかあさんからきいたよ。とつてもこわくてところがぎゆうといたくなつてなみだがでたよ。だいじょうぶかなとしんぱいだよ。

せんそうはぜつたいいやだとおもつたよ。

がつこうでせんせいがおしえてくれたよ。わたしたちのては、みんなとつないでしあわせになるためなんだつて。

じゅうをもつたりばくだんをつくつたりしてひとをかなしませることはぜつたいだめなんだつておしえてくれたよ。

どことなくのひとたちもてとてをつないだらこころまでつながつてせんそうなんかおこらないつて。

ひとはしあわせになるためにいきているんだつて。

せんそうのくににいるおともだちへ
おそらを見ているよ。

せんそうがなくなりますようにおそらを見ているよ。

みてやくそくするね。
おともだちとてをつないでなかよくすること

けんかなんかぜつたいしないこと
どことなくのひとともてとてをつないでなかよくすること
みんながしあわせになること